

## 横暖ルーフα

工法

重ね葺き

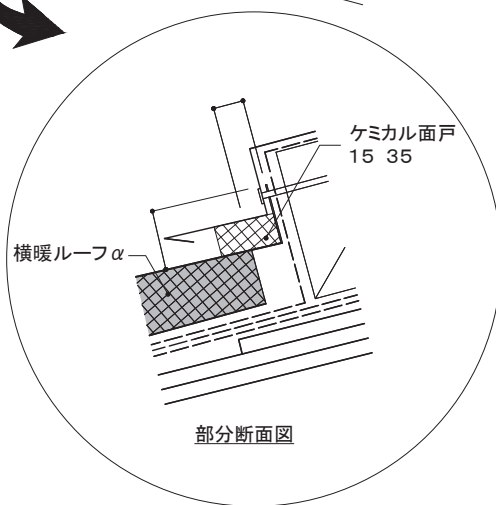
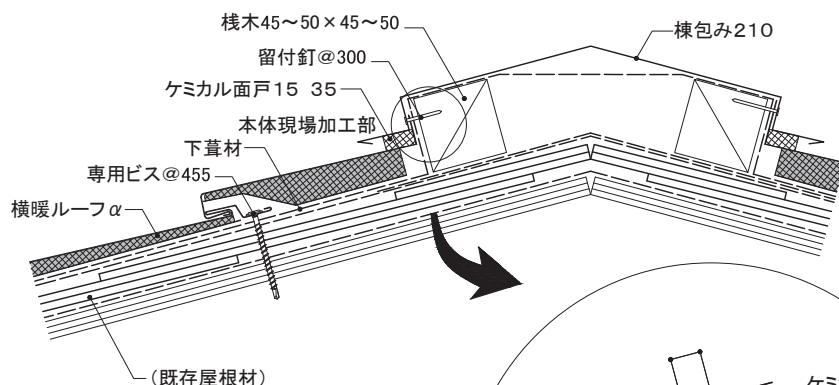
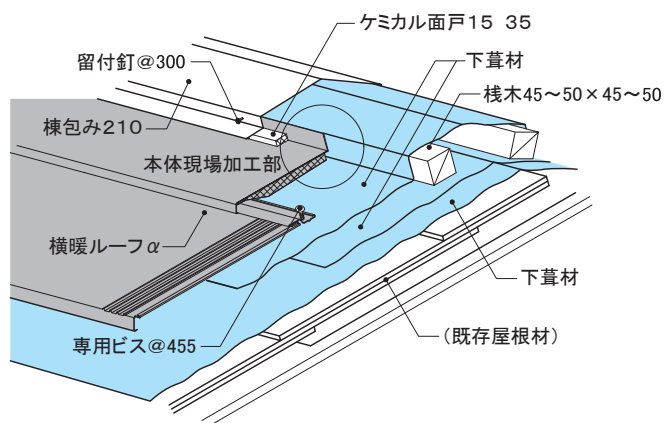
既存屋根材

セメント系新生瓦  
アスファルトシングル

## 6)大棟部

## ①棟包み210

- 既存屋根材に下葦材を張ります。
- 棟部に栈木45～50mm×45～50mmを外側2ヶ所に取り付け、栈木を包むように下葦材を増し張ります。
- ※工事中は棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 棟部は本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は留付釘(ステンレススクリーナ釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で栈木に留め付けます。
- けらば部は棟包み210Lを使用して納めます。



## ■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα本体の大棟部分を図のように加工します。

